

文教委員会資料

所管事務の調査（報告）

「（仮称）小杉駅周辺地区新設小学校整備事業の進捗及び
通学区域等の検討状況について」

資料1 （仮称）小杉駅周辺地区新設小学校の取組

資料2 新設小学校通学区域候補案について

参考資料 新設小学校設計概要

参考資料 新設小学校「校名」募集

平成28年11月17日
教育委員会事務局

1 「新設小学校整備事業の進捗状況」

(1) 学校予定地の事業用定期借地権設定契約の締結

平成23年10月に学校法人日本医科大学と締結した基本協定に基づく条件協議を重ね、平成28年11月8日付けで公正証書による契約を締結。

- 学校予定地
中原区小杉町二丁目295番1
- 契約期間
平成29年4月1日～平成62年3月31日（33年間）
- 地代
年額 2億900万円（今後、土地に対する租税公課等の増減による地代の改定を予定）

(2) 施設整備

平成28年9月に実施設計完了。（設計概要は参考資料参照）
今後、川崎市まちづくり公社による工事の発注手続きを進め、平成29年度初頭に工事請負契約を締結予定。

- 学校規模
普通教室18教室程度。特別教室、管理諸室、体育館、グラウンド等
- 工事予定期間
平成29年4月～平成30年12月（21ヵ月）

2 「新設小学校通学区域等の検討状況」

(1) 検討状況

学校予定地の通学区域校である西丸子小学校をはじめ、周辺小学校（上丸子小学校、今井小学校、中原小学校）の学校・地域関係者代表で構成する「通学区域等検討会議」（以下「検討会議」という。）を設置し、検討を進める。

(2) 通学区域

- 通学区域の設定基準
 - ・ 周辺学校の適正規模化、通学路の安全性、町内会・自治会等地域活動の状況、鉄道・幹線道路等の状況、地域開発状況を考慮し、地域単位で区域を設定する。
 - ・ 既存小学校の通学区域の変更による新設小学校への就学は全学年を対象とする。
- 重点事項
 - ・ 新設小学校や学校予定地の通学区域校である西丸子小学校の適正規模化にも十分配慮する。
 - ・ 児童が増加傾向にあり、過大規模の恐れのある上丸子小学校及び今井小学校、教室不足が課題の中原小学校の将来的な適正規模化に向けた検討を行う。
 - ・ 将来的な開発状況等も可能な限り想定に入れた児童数・学級数推移を基に多角的に検討する。
- 候補案
資料2のとおり
※候補案をたたき台として、他の案を含め素案作成に向けた検討を行う。

(3) 学校名

- 学校名の考え方
 - ・ 建築場所の地名を基に、周辺の歴史的な背景等を考慮する。
 - ※市内に学校名が既に存在・類似するものや他地域と誤解されやすいものに留意する。
 - ・ 地域に親しまれる、新しい小学校の名前について募集し、応募いただいた内容を基に検討会議の意見をお聞きした上で、平成29年度中に教育委員会において学校名を決定予定。
 - （募集については、参考資料のとおり）

小杉駅周辺地区新設小学校通学区域候補案について

候補案作成の基本情報

対象小学校 (中学校区)	現行の通学区域	新設通学区域候補エリア
西丸子小学校 (中原中)	上丸子天神町 新丸子町 丸子通 2 丁目 小杉陣屋町 1～2 丁目 小杉町 1～2 丁目 等々力 1 番 1 号、19～20 番 1 号	小杉町 1～2 丁目 新丸子町
今井小学校 (今井中)	今井上町 1～8、11、12 番 今井仲町 今井西町 小杉町 3 丁目	小杉町 3 丁目
上丸子小学校 (中原中)	上丸子 上丸子山王町 1～2 丁目 上丸子八幡町 新丸子東 1～3 丁目 丸子通 1 丁目	新丸子東 1 丁目の一部 新丸子東 2 丁目の一部 (すべて綱島街道より新校側)
中原小学校 (宮内中)	今井上町 9～10、13 番 上小田中 6 丁目 5～15、21～46、48～51 番 8 号 上小田中 7 丁目 小杉御殿町 1～2 丁目 等々力 1 番 2 号～3 番、6 番 1 号～18 番	小杉御殿町 2 丁目

対象小学校の児童数・学級数長期推計 (平成 28 年 10 月)

学校	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
西丸子小	児童数	572	589	643	686	685	805
	学級数	18	18	20	20	20	24
今井小	児童数	905	902	897	894	926	1031
	学級数	26	26	26	26	26	30
上丸子小	児童数	795	834	911	960	982	1005
	学級数	25	25	26	28	29	30
中原小	児童数	685	724	744	765	800	822
	学級数	20	22	22	23	24	25

A 案 (小杉町 1～2 丁目・小杉御殿町 2 丁目)

学校	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
新設校	児童数	445	469	535	586	687	830
	学級数	15	15	18	20	22	25
西丸子小	児童数	417	401	423	438	451	471
	学級数	13	12	13	14	15	16
中原小	児童数	591	618	598	606	582	538
	学級数	17	18	18	18	18	18

B 案 (小杉町 1～2 丁目・新丸子町・小杉御殿町 2 丁目)

学校	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
新設校	児童数	496	519	589	642	740	884
	学級数	16	17	18	20	22	26
西丸子小	児童数	366	351	369	382	398	417
	学級数	12	12	13	14	14	14
中原小	児童数	591	618	598	606	582	538
	学級数	17	18	18	18	18	18

C 案 (小杉町 1～2 丁目・新丸子町・新丸子東 1 丁目の一部・新丸子東 2 丁目の一部)

学校	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
新設校	児童数	392	403	467	502	605	754
	学級数	12	13	14	14	19	23
西丸子小	児童数	366	351	369	382	398	417
	学級数	12	12	13	14	14	14
上丸子小	児童数	888	913	901	926	888	781
	学級数	26	26	26	26	26	23

D 案 (小杉町 2 丁目・小杉町 3 丁目)

学校	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
新設校	児童数	404	474	537	601	678	823
	学級数	14	15	17	19	22	25
西丸子小	児童数	489	475	536	563	651	723
	学級数	15	15	18	20	21	21
今井小	児童数	687	662	665	672	660	683
	学級数	20	20	20	21	20	21

※平成 35 年度以降の児童数・学級数については近隣地域の実績を基に参考値として示しています。

※候補エリアから新設校や周辺小学校の規模等を踏まえた検討を行い、4 つの候補案に整理しました。この候補案をたたき台として、他の案の可能性を含めた検討を行います。

小杉駅周辺地区新設小学校 (通学区域候補A案)

【凡例】

- 小学校区
- 中学校区
- 平成28年3月現在で
入居済み・入居開始の
集合住宅(100戸超)
- 平成28年3月以降、
開発が予定されている
集合住宅

0 300m

西丸子小 保有教室20

年度	児童数	学級数
H31年度	417	13
H32年度	401	12
H33年度	423	13
H34年度	438	14
H35年度	451	15
H36年度	462	16

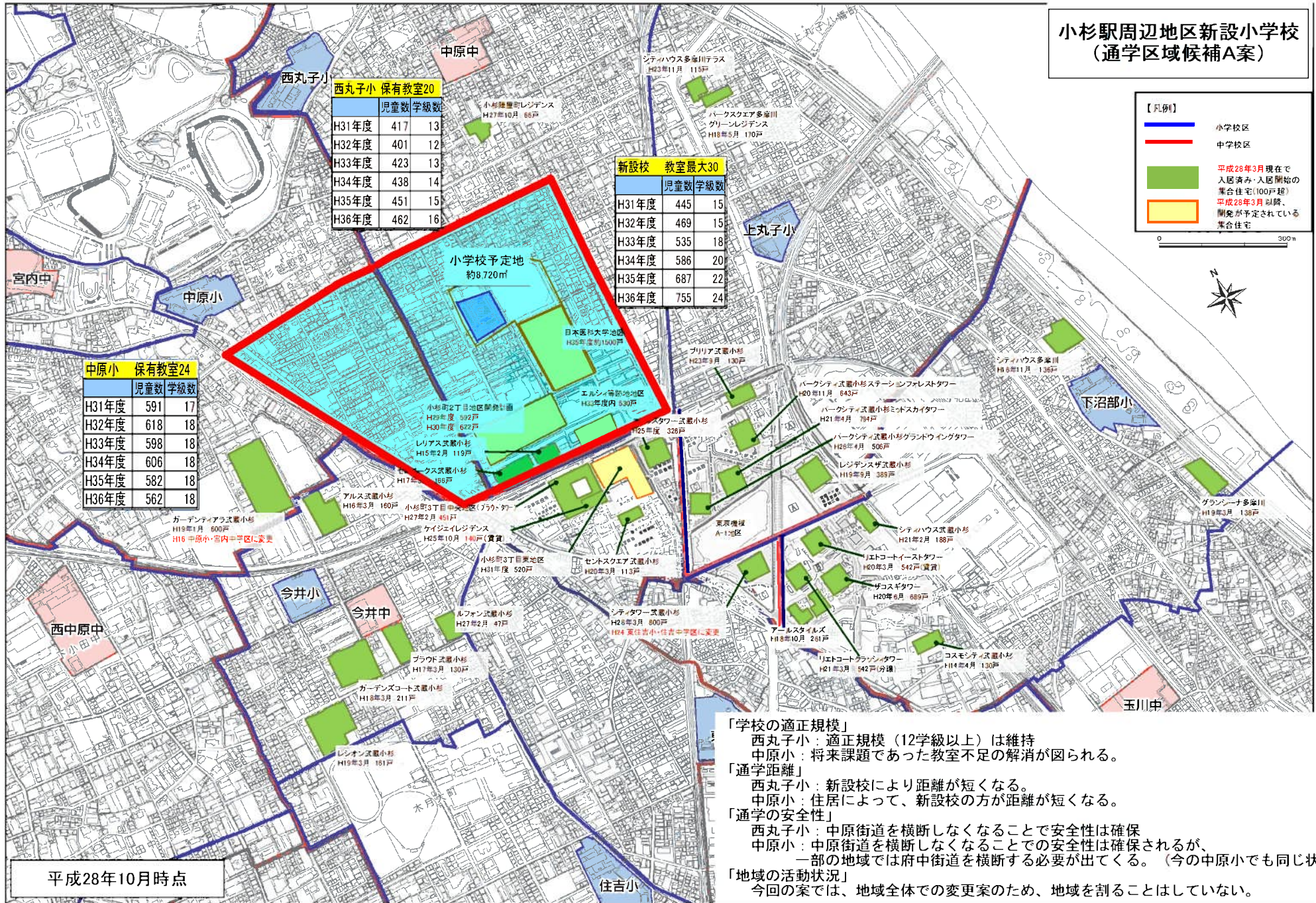
新設校 教室最大30

年度	児童数	学級数
H31年度	445	15
H32年度	469	15
H33年度	535	18
H34年度	586	20
H35年度	687	22
H36年度	755	24

中原小 保有教室24

年度	児童数	学級数
H31年度	591	17
H32年度	618	18
H33年度	598	18
H34年度	606	18
H35年度	582	18
H36年度	562	18

小学校予定地
約8,720㎡



平成28年10月時点

- 「学校の適正規模」
 西丸子小：適正規模（12学級以上）は維持
 中原小：将来課題であった教室不足の解消が図られる。
- 「通学距離」
 西丸子小：新設校により距離が短くなる。
 中原小：住居によって、新設校の方が距離が短くなる。
- 「通学の安全性」
 西丸子小：中原街道を横断しなくなることで安全性は確保
 中原小：中原街道を横断しなくなることで安全性は確保されるが、一部の地域では府中街道を横断する必要が出てくる。（今の中原小でも同じ状況）
- 「地域の活動状況」
 今回の案では、地域全体での変更案のため、地域を割ることはしていない。

小杉駅周辺地区新設小学校 (通学区域候補B案)

【凡例】

- 小学校区
- 中学校区
- 平成28年3月現在で
入居済み・入居開始の
集合住宅(100戸超)
- 平成28年3月以降、
開発が予定されている
集合住宅

1:7,500
0 300m

西丸子小 保有教室20

年度	児童数	学級数
H31年度	366	12
H32年度	351	12
H33年度	369	13
H34年度	382	14
H35年度	398	14
H36年度	407	14

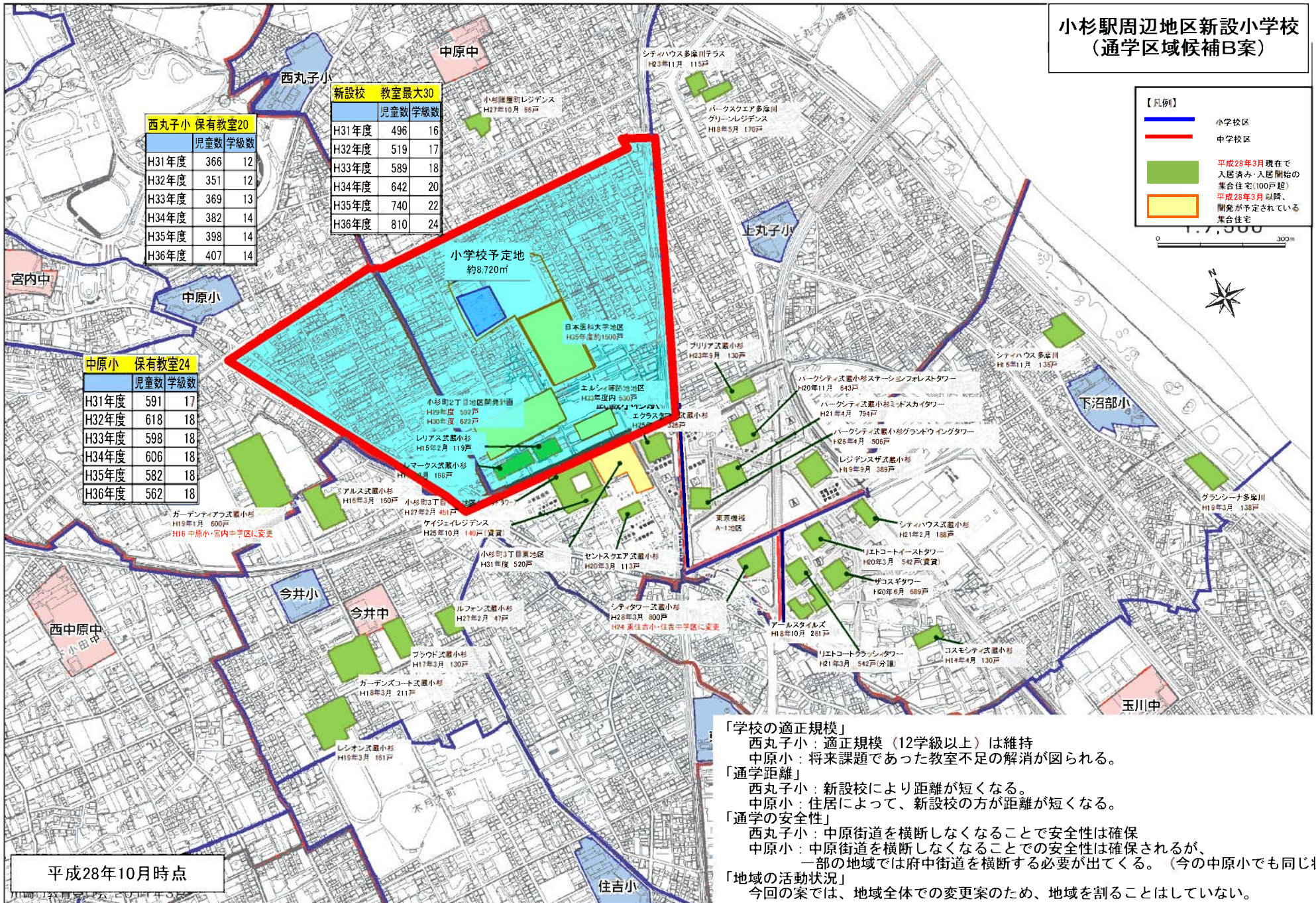
新設校 教室最大30

年度	児童数	学級数
H31年度	496	16
H32年度	519	17
H33年度	589	18
H34年度	642	20
H35年度	740	22
H36年度	810	24

中原小 保有教室24

年度	児童数	学級数
H31年度	591	17
H32年度	618	18
H33年度	598	18
H34年度	606	18
H35年度	582	18
H36年度	562	18

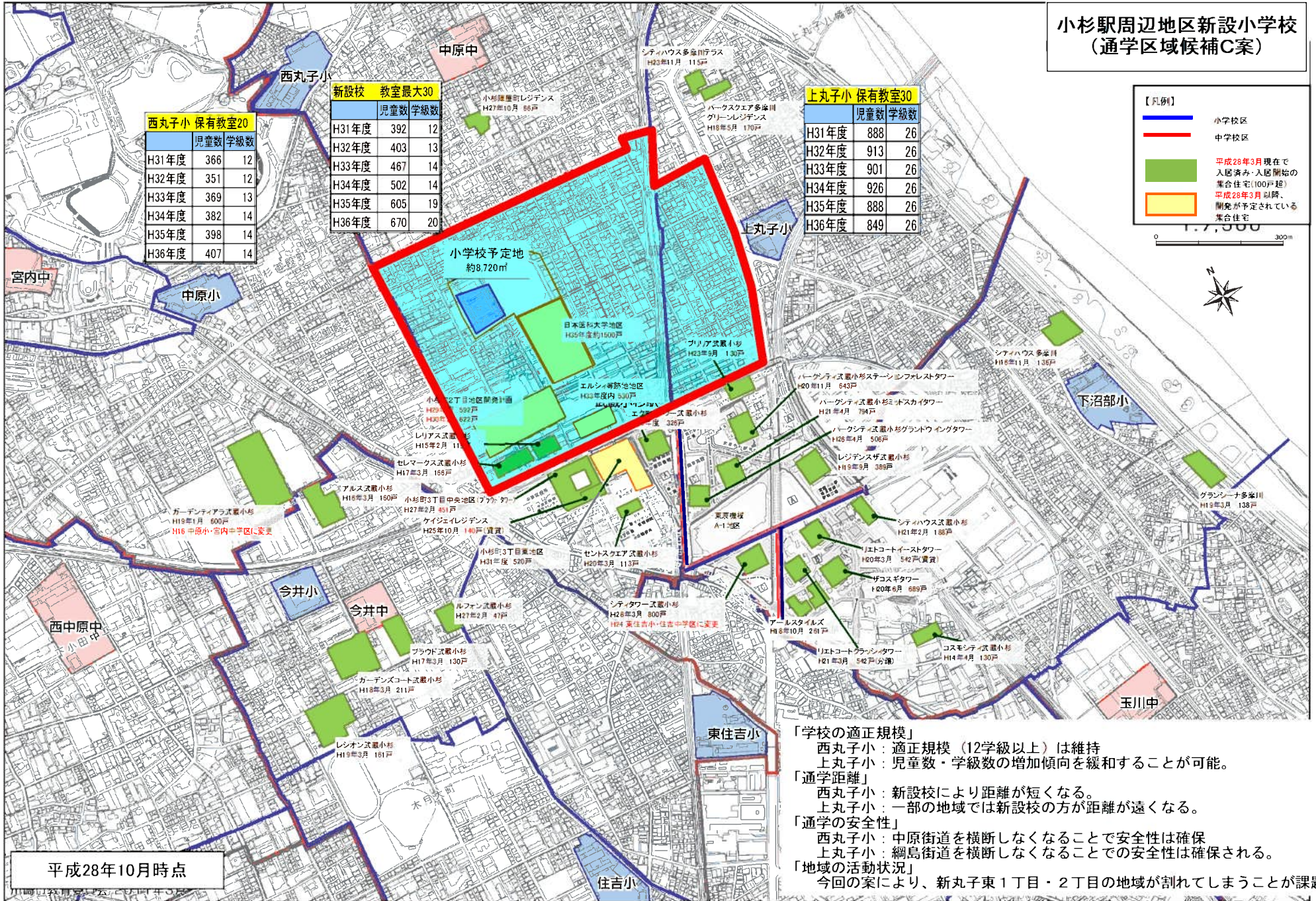
小学校予定地
約8,720㎡



平成28年10月時点

- 「学校の適正規模」
西丸子小：適正規模（12学級以上）は維持
中原小：将来課題であった教室不足の解消が図られる。
- 「通学距離」
西丸子小：新設校により距離が短くなる。
中原小：住居によって、新設校の方が距離が短くなる。
- 「通学の安全性」
西丸子小：中原街道を横断しなくなることで安全性は確保
中原小：中原街道を横断しなくなることで安全性は確保されるが、一部の地域では府中街道を横断する必要が出てくる。（今の中原小でも同じ状況）
- 「地域の活動状況」
今回の案では、地域全体での変更案のため、地域を割ることはしていない。

小杉駅周辺地区新設小学校 (通学区域候補C案)



西丸子小 保有教室20

年度	児童数	学級数
H31年度	366	12
H32年度	351	12
H33年度	369	13
H34年度	382	14
H35年度	398	14
H36年度	407	14

新設校 教室最大30

年度	児童数	学級数
H31年度	392	12
H32年度	403	13
H33年度	467	14
H34年度	502	14
H35年度	605	19
H36年度	670	20

上丸子小 保有教室30

年度	児童数	学級数
H31年度	888	26
H32年度	913	26
H33年度	901	26
H34年度	926	26
H35年度	888	26
H36年度	849	26

【凡例】

- 小学校区 (Blue outline)
- 中学校区 (Red outline)
- 平成28年3月現在で入居済み・入居開始の集合住宅(100戸超) (Green)
- 平成28年3月以降、開発が予定されている集合住宅 (Yellow)

1:7,500 300m

平成28年10月時点

- 「学校の適正規模」
 西丸子小：適正規模（12学級以上）は維持
 上丸子小：児童数・学級数の増加傾向を緩和することが可能。
- 「通学距離」
 西丸子小：新設校により距離が短くなる。
 上丸子小：一部の地域では新設校の方が距離が遠くなる。
- 「通学の安全性」
 西丸子小：中原街道を横断しなくなることで安全性は確保
 上丸子小：綱島街道を横断しなくなることで安全性は確保される。
- 「地域の活動状況」
 今回の案により、新丸子東1丁目・2丁目の地域が割れてしまうことが課題。

小杉駅周辺地区新設小学校 (通学区域候補D案)

【凡例】

- 小学校区
- 中学校区
- 平成28年3月現在で
入居済み・入居開始の
集合住宅(100戸超)
- 平成28年3月以降、
開発が予定されている
集合住宅

1:7,500 300m

西丸子小 保有教室20

年度	児童数	学級数
H31年度	489	15
H32年度	475	15
H33年度	536	18
H34年度	563	20
H35年度	651	21
H36年度	684	21

新設校 教室最大30

年度	児童数	学級数
H31年度	404	14
H32年度	474	15
H33年度	537	17
H34年度	601	19
H35年度	678	22
H36年度	747	24

今井小 保有教室30

年度	児童数	学級数
H31年度	687	20
H32年度	662	20
H33年度	665	20
H34年度	672	21
H35年度	660	20
H36年度	677	21

平成28年10月時点

- 「学校の適正規模」
西丸子小：適正規模（12学級以上）は維持
今井小：適正規模化（24学級以下）が図られる。
- 「通学距離」
西丸子小：新設校により距離が短くなる。
今井小：一部の地域（府中街道より今井地区側）は、新設校の方が距離が遠くなる。
- 「通学の安全性」
西丸子小：中原街道を横断しなくなることで安全性は確保
今井小：区役所側の地域は府中街道を横断しなくなることで安全性は確保されるが、新たに南武沿線道路の横断が発生するとともに、府中街道より南側の地域では府中街道も横断する必要が出てくる。
- 「地域の活動状況」
今回の案では、地域全体での変更案のため、地域を割ることはしていない。

仮称小杉小学校 設計概要

■敷地概要・建物概要

所在地 : 川崎市中原区小杉町二丁目 295 番 1 他
 敷地面積 : 10,015.99 m²
 建築面積 : 4,737.00 m² (建蔽率 47.29%)
 延床面積 : 11,292.25 m² (容積対象床面積: 11,153.14 m² 容積率 111.35%)
 構造・規模: (校舎・体育館棟) 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造・5階建て・19.86m
 (体育倉庫棟) 木造・平屋建て・3.787m
 (駐輪場) 鉄骨造・平屋建て・2.32m
 (ボンベ庫) 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造・平屋建て・2.495m
 グラウンド: 3,047 m²



環境学習等に利用できるビオトープ

集会や展示スペースとして利用するほか、児童数が増加した場合は教室へ転用

観察や工作に利用できるテラス

音読などに利用するほか、児童数が増加した場合は教室へ転用

アリーナ

3階

北側の特別教室ゾーン

南側の普通教室ゾーン

集会や展示スペースとして利用するほか、児童数が増加した場合は教室へ転用

2層吹き抜けの多目的ホール

音読などに利用するほか、児童数が増加した場合は教室へ転用

オープントップの普通教室

低学年普通教室は、南側のバルコニーに於いて昇降口を設け、直接各教室へ登校できる6画とする。

多目的ホール

2階

屋外25mプール

屋上緑化高場
・発電機
・キュービクル
・太陽光パネル
・室外機

凡例
■ 普通教室・特別支援教室
■ 特別教室
■ 管理棟
■ その他

5階

全学年の学年菜園

プレイガーデン

地上グラウンドを囲繞する屋上グラウンド

普通教室 (2階(1学年))

4階

小杉駅周辺地区新設小学校「学校名」の募集について

1 目的

平成31年度に開校予定の小杉駅周辺地区の新しい小学校にふさわしい、親しみやすい学校名を募集します。

2 募集期間

平成28年11月21日（月）～平成28年12月27日（火）

3 応募資格

中原区内在住・在学・在勤の方

4 応募方法

任意の様式（はがき等）又はホームページに掲載している応募用紙に必要事項を記入し、郵送、FAX、メール、事務局へ持参のいずれかの方法で応募してください。

「記載内容」

- 校名案（漢字の場合は必ずふりがなも記載してください。）
 - 理由（新しい校名への思い等校名を考えた理由を記載ください。）
 - 氏名・対象確認（中原区在住・在学・在勤のいずれかを記載ください。）
- ※なお、個人情報については、この目的以外に使用いたしません。

5 応募・問い合わせ先

〒210-0004 川崎市川崎区宮本町6番地

川崎市教育委員会 教育環境整備推進室

電話番号：044-200-3319 FAX：044-200-3679

e-mail：88seibi@city.kawasaki.jp

6 応募締切

平成28年12月27日（火）（はがきの場合は消印有効）

7 新しい学校名の選考方法及び発表

応募いただいた学校名の中から、小杉駅周辺地区新設小学校通学区域等検討会議でのご意見をお聞きし、平成29年度中に教育委員会において学校名を決定後、川崎市議会に「川崎市立学校の設置に関する条例」の改正案を提案し、市議会の議決をもって最終決定となる予定です。発表につきましては市の広報誌及びホームページ等で周知する予定です。

小杉駅周辺地区新設小学校の校名応募用紙

■新しい小学校の基本コンセプト

「子どもたちが豊かに学び表現できる学校」

「地域コミュニティの拠点となる学校」

「安心で安全な学校」

「環境を考え、環境を学ぶ学校」

■新しい小学校の開校予定は、平成31年度の予定です。

■新設小学校の場所は、川崎市中原区小杉町二丁目295番1他になります。

■1人1応募のみといたします。

校名案 ※漢字の場合、ふりがなを記入ください。

川崎市立（ ）小学校

ふりがな（ ）

新しい校名への思い等、校名を考えた理由をお書きください。

応募者氏名	対 象 (あてはまる項目にチェックをお願いします。)
	<input type="checkbox"/> 中原区在住 <input type="checkbox"/> 中原区在勤 <input type="checkbox"/> 中原区在学

平成28年12月27日(火)までに次のいずれかの方法により応募ください。

- ① FAXの場合：送付先番号 044(200)3679
- ② Eメールの場合：送付先アドレス 88seibi@city.kawasaki.jp
- ③ 持参する：川崎市教育委員会教育環境整備推進室(川崎市川崎区宮本町6)
- ④ はがきで送付する：上記内容を記載し、〒210-0004 川崎区宮本町6 川崎市教育委員会教育環境整備推進室あて

※ご記入いただいた個人情報、校名を募集する目的以外には一切使用いたしません。